

議員の賛否を公開します

上程された議案・概要	桐原 剛雄	荒木 俊彦	津田 桂伸	永田 和彦	坂本 典光	佐藤 真二	豊瀬 和久	山本 富二夫	山部 良二	三宮 美香	大塚 益雄	西川 秀男	時松 智弘	田代 元氣	大村 裕郎	賛成 (○)	反対 (●)
議会の議員報酬及び費用弁償等に関する条例の一部を改正する条例	—	●	○	●	○	○	○	○	○	欠	○	○	○	●	○	11	3
令和6年度大津町一般会計補正予算	—	○	○	○	○	○	○	○	○	欠	○	○	○	●	○	13	1
大津町議会ハラスメント防止条例の制定	—	○	○	●	○	○	○	○	○	欠	○	○	○	○	○	13	1

※議長は議事進行を行うため賛否表明はしません。賛否の分かれた議案のみ掲載しています。

■賛否表 ○は(賛成) ●は(反対) 欠は(棄権) 欠は(欠席)

その他の議案については議会ホームページをご覧ください。

大津町議会

検索



(本会議での質疑の一部を抜粋して掲載しています)

ながた かずひこ
永田 和彦議員

問 議員報酬を改定する説明で最初に出てくるのが、議員の成り手不足だが、なり手不足の要因は議員報酬とは別にあるのではないのか。

答 全国議長会の報告書で議員の成り手不足という項目があり、議員にならない要因として二つあり、一つは議会や議員の魅力が伝わらないで、二つ目に議員報酬が低いということであった。

ときまつ ともひろ
時松 智弘議員

問 公共施設予約システムによる小中学校施設利用予約について、条例改正により電子化して受付をすることにより職員の手間が省けるが、紙媒体による申請も残る。電子申請と紙媒体での申請はどちらに優先順位があるのか。

答 システムで確実に空いている確認をした上で紙媒体申請は受付をする。今後運用を3月から行うに当たり、事前に説明会などを実施しながら、電子申請と紙媒体の申請の取り扱いなどの整合性を図っていく方向で進めていく。

やまべ りょうじ
山部 良二議員

問 町の包括支援センター常勤の定数は5人であり、実際は4人しかいないと認識している。今回の条例改正でどう変わるのか。また、今後は後期高齢者が増え支援が必要なが増加します。そのためには正規職員を置き、会計年度任用職員の人にはその他の支援業務をやっていた必要があるのではないのか。

答 今回の改正は、包括支援センターの人材確保が困難となっている状況から、職員の配置基準を緩和する改正である。会計年度任用職員2名を常勤換算し、定数に足る配置基準になる。正職員の募集はしているが、応募が増えないという現状で、今回弾力的な運営をしていく。

あらは たけひこ
荒木 俊彦議員

問 重度心身障害者医療費助成の現物給付は大変喜ばれているが、現物給付に伴い支出見込みが増額するという事で、現物給付がなかった時は、申請漏れがあったということだと思ふがその分析はなされているのか。

答 重度心身障害者医療費助成については、当初から申請漏れはあり、今後、現物給付に伴って、助成金が増えるということは町としても分析していた。今回、増額を提案した見込みで補正予算を形状している。

さとう しんじ
佐藤 真二議員

問 体育施設利用料をキャッシュレスで払う場合の手数料を町が負担しようとしているが、利用料を収入とするのは指定管理者なので、指定管理者が負担すべきものではないのか。

答 町負担で考えていたが、今後検討して、協議をする。

若者の視点

尚網大学生によるレポート 36

大津町議員との意見交換会を終えて

このたび尚網大学現代文化学部3年生と大津町議会広報委員と意見交換会を行いました。学生のうち、以前1年生のとき議員と交流した者もあり、学年があがって再びお話をうかがうと一層理解が深まったものと思われます。政治、地域の問題に対する理解をこのようかたちで若者に届けられ、授業の担当者としてはとても喜ばしく思います。以下学生の声を抜粋して紹介します。(担当教員 黄鑑)



現代文化学部
3年
市川 あいさん

今回は、議会広報編集特別委員会の議員から次のお話を伺い、「おおづまち議会だより」について意見交換を行いました。

町議会議員という国会議員や県議会議員より身近な存在ですが、自分とは違い存在という感じがしていました。ですが、今回お話を伺ったお二人は子育てをしながらだったり、農家をしてきたりと普通の町民としての面も持っていることがわかりました。さらに、母親と農家という様々な立場の人が議員になることで全ての町民が満足に暮らせる自治ができるのだなと気づきました。

議会だよりは、表紙に子どもの写真が使われていたり、一般質問のページで議員の顔写真が掲載されているなど写真が多く読みやすいと思いました。委員会レポートでは、委員会ごとに色分けされていてどの部分で分割されているかわかりやすかったです。議会広報編集特別委員会の方々が読みやすいように様々なリニューアルをしていると聞いて、自分の町の議会広報誌と比較してみようと思いました。



現代文化学部
3年
藤好 彩花さん

3人の方のお話を聞いて、自分が感じた点は2つです。1つ目はTSMCが大津町に進出してきたこと。2つ目は大津町の議会だよりについてのことです。

1つ目のTSMCについていうと、私が今回のお話を聞くまで、TSMCが進出して来ていいな、羨ましい、大津町に来てくれたことでメリットが沢山あると思い、デメリットの事など、全く考えていませんでした。しかし、今回のお話を聞いて渋滞やインフラ整備、中国や台湾、フィリピン(アジア圏)の働き手の子どもの受け入れ、多文化共生が日本の生活だけでは成り立たず、TSMCが進出して来た事による文化の違いに戸惑う子どもや家族も増えていくのではないかと感じました。

2つ目の議員だよりについては、私は毎月発行される市の広報に目を通すようにしていますが、その中に議会だよりが添付されていることもあるのですが、住んでいる市の議会だよりは活字ばかりで、ほぼ読む気になりません。大津町の議会だよりは内容が簡潔にかつ、分かりやすく掲載されていて、短い時間でしたが分かりやすかったです。その他にも、2ページ目には立候補者の手続きに関することも書かれていて、目に見えず知らない事も紙面に載せてくれる事で、どのような道順でやっているのかが分かるので安心して投票ができると感じました。